

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2 部 3 年	図画工作Ⅱ	木村 早苗	
サブタイトル	図画工作の実践力を身につける	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	後期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
(1) 表現することや鑑賞することの楽しさを知り教材開発をする。 (2) 造形活動の応用能力（知識・技能・表現力）・指導力を身につける。 (3) 造形活動に興味・関心・意欲をもち保育に生かす実践力を養う。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
(1) 作ったり観たりする喜びを子どもたちと分かち合える。 (2) 造形活動の大切さを理解し保育の場で活用できる。 (3) 造形美術の専門的知識や技能を身につけ、自信をもって指導できる。 (4) 造形活動の協働学習を通して「和」の精神を理解し、保育の場で実践できる。			
授 業 の 方 法			
(1) 教材・教具の結びつきを理解し、多様な技法を能動的に開発し活用する。 (2) グループワークを取り入れて、学修者がディスカッションやディベートを通して相互に刺激し合い、学修を深めるようにする。 (3) 振り返りシートなどを活用して毎時の学修を確実なものにする。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『ワークシートで学ぶ子どもの造形表現』北沢昌代他著 開成出版 参考図書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省著 2018 年 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省著 2018 年 フレーベル館 『小学校学習指導要領解説・図画工作編』文部科学省 2017 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
(1) ポートフォリオ（スケッチブックなど）に作品を始めとする、授業記録を主体的に収納・整理し、学修過程でどのような能力を育むことが出来たかを評価する。 (3) 美術館見学等のレポート作成。 (4) 授業に興味・関心・意欲をもって積極的に参加したか。		ポートフォリオなど 興味・関心・意欲など	50% 50%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
*シラバスは、社会情勢や教材等の事情によって授業内容が変更あるいは前後することがある。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	<ガイダンス> *教師紹介 *出席者確認 *授業目標の説明 *授業の進め方 *授業内容の紹介 *材料・用具について *評価方法など *造形美術教育の意義 *スケッチブックの活用について	理解力 興味・関心 意欲の喚起
2 回	<マスクで変身>① (1)「マスクで変身」の意味を理解する。 (2) 独創的なマスクを作る (アイデアを考えてくる:予習)	構想力 独創力
3 回	<マスクで変身>② (1) 独創性についての理解。 (2) マスクの鑑賞。理論と実践の検討。	実践力 応用力 理解力
4 回	<凸版画を楽しむ>① (1) 凸版について理解を深める。 (2) 身近な凸版について理解し体験する。	理解力 応用力 実践力
5 回	<凸版画を楽しむ>② (1) 凸版の作品を作り、指導できるようにする。 (2) 材料用具について検討し作品を作ってみる。	指導力 保育力 応用力
6 回	<紙コップ工作>① (1) 紙コップで何ができるか話し合う。 (2) アイデアを具現化する。	発想の転換 討議力 実践力
7 回	<紙コップ工作>② (1) 保育力との関連を考えディスカッションする。 (2) 友達の成果を鑑賞する。	保育力 鑑賞力
8 回	<壁面造り>① グループ活動 (1) 壁面造りの実践力を身につける。 (2) 友達との意見交換。テーマの設定。	協調性 決断力 判断力
9 回	<壁面造り>② グループ活動 (1) 目的に合致した壁面構成の試み。 (2) グループ活動の成果の発表。	実践力 発表力 達成力
10 回	<紙粘土研究>①お弁当作り (1) 幼児童の観察表現について理解する。 (2) 幼児童の作品を鑑賞する。	理解力 保育力 鑑賞力
11 回	<紙粘土研究>②お弁当作り (1) 幼児童の構想表現について理解する (2) 幼児童の作品を鑑賞する。	理解力 保育力 実践力
12 回	<紙粘土研究>③お弁当作り (1) お弁当作りに必要なものは何か。 (2) お弁当の作品発表。	理解力 創作力 実践力
13 回	<表紙の制作> (1) 1 年時の課題の発展応用課題です。 (2) 経験を生かして表紙をデザインする。	発展力 応用力
14 回	<裏表紙の制作> (1) 表紙と一体化したデザインを考える。 (2) 個性的な表現を楽しむ。	表現力 実践力
15 回	<まとめ> *後期の授業のまとめ。作品の整理・授業の自己評価など。	評価力 総合力